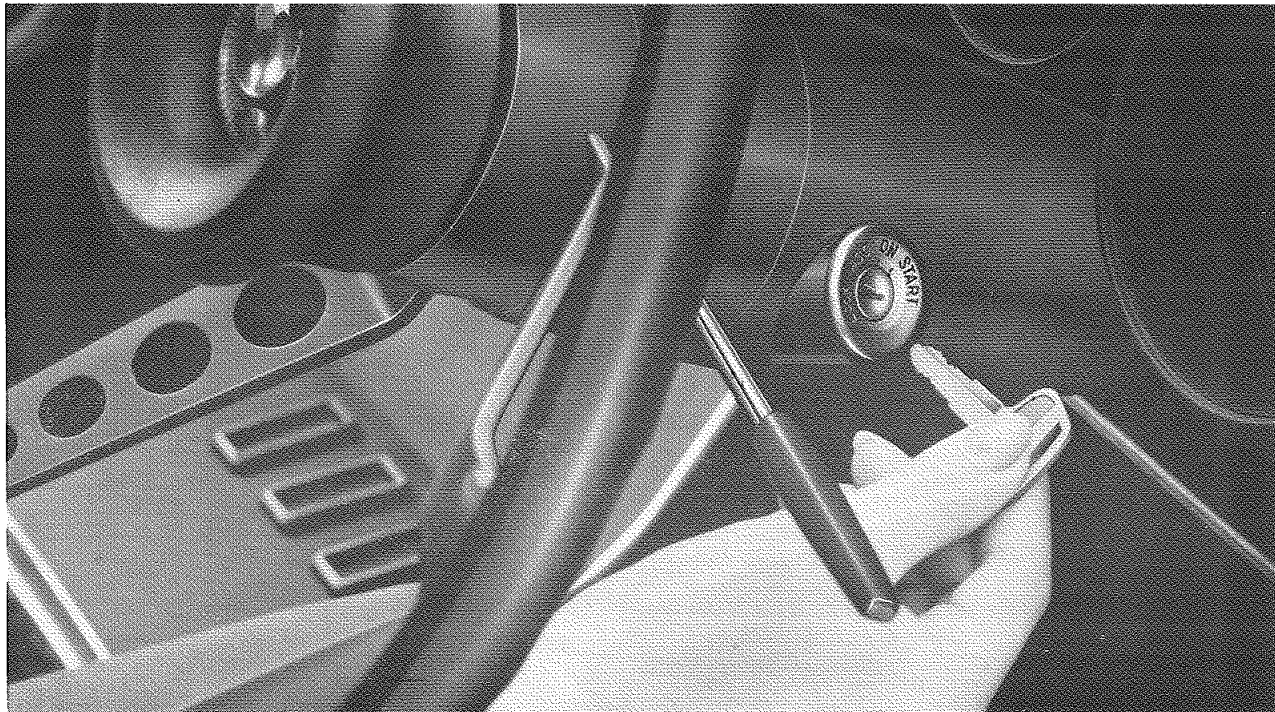
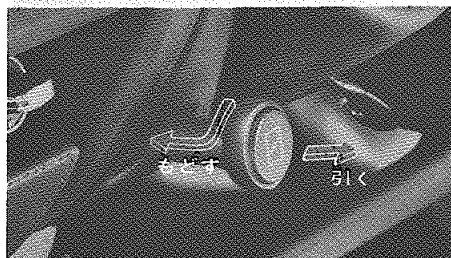


エンジンの始動

CORONA *MARK II* 1900 HARDTOP GSS



この車には、エンジンが冷えているときに、始動を容易にするための手動式チョークがついています。



チョーク・ボタンを、引っ張り出すとチョーク・バルブが作動します。元にもどすときには、左に約90°まわして押し込んでください。

チョーク使用中は空気の吸込み音<シュー>が出ますが異常ではありません。気温の高いときは、チョーク・ボタンを引かずに、アクセル・ペダルを少し踏みながらエンジンをかけてください。

気温が下がり、始動困難の場合には次の要領で行なってください。

1 チョーク・ボタンをいっぱい引いてく

ださい。

2 アクセル・ペダルを踏まないでエンジンをかけてください。

3 始動後、エンジンの回転数が2,500 r.p.m.以上になったら、チョーク・ボタンを徐々にもどし、エンジンの回転数が2,000 r.p.m.程度になるように、チョーク・ボタンを調整して、充分暖気運転を行なってください。

<注意>

始動直後、エンジンの回転が円滑に持続しない場合は、アクセル・ペダルを踏みながら円滑に回転するようにしてください。

4 エンジンが暖まり、チョークを使用しなくてもエンジンが円滑に回転するようになったら、チョーク・ボタンを元にもどしてください。

(エンジンのウォームアップ)

エンジン始動後は冬期に限らず必ず数分間ウォーム・アップの習慣をつけてください。エンジンが充分暖まらないうちに

走行するとガソリンの完全燃焼が行なわれないため、エンジンに悪影響を与えます。

<スパーク・プラグ使用上のご注意>

お車のプラグは低熱価の市街地用のものを取りつけてありますので、準レース走行(140 km/h以上の連続走行)をされる時には必ず高熱価のプラグとお取りかえください。

低熱価のプラグで準レース走行をされますと、プラグが焼損したり、ピストンが破損する場合がありますので、十分ご注意ください。

	高熱価プラグ	低熱価プラグ
プラグの種類	日本電装製 W22EP	日本電装製 W20EP
	NGK製 BP-7E	NGK製 BP-6ES
走行条件	準レース走行	一般走行